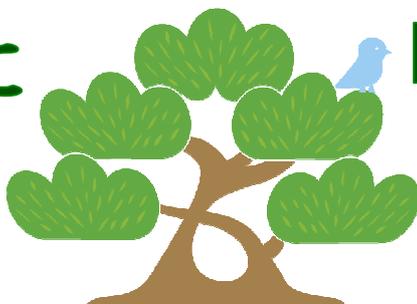




願いと誓いと思いを込めて、  
ロゴマークが生まれ変わります。

(五葉会 理事長:戸山 文洋)

## 「五葉松」に「青い鳥」



社会福祉法人  
五葉会

2022年2月18日、創立記念の日に、法人の新しいロゴマークを発表しました。

「五葉会」という法人名は、創設者一家の庭にある五葉松に由来します。詳細は他所に譲りますが、込めたのは「この樹のように地域の人々のランドマークになるように」という願いでした。

以来20余年を共にしたロゴマークを刷新することにしたのは、理事長が交代しても変わることのないその願いと、これからも役割＝御用（五葉）を果たしていくという誓い、そして「施設は大きな家族である」という理念、想いをこれからも大切に守るためです。

まず、法人の柱（幹）が、地域（地）にしっかり根を張ることで立ち上がり、そこに流れるニーズ（水）を吸い上げて活かされているということ。私たちの姿勢（樹形）は、ご利用者様、ご家族様、職員、地域の皆様、ご協力頂いている各社様、の五つの信用（針葉）を集めて整えられ（枝棚）、伸ばされていくということ。

幹を「五」に見立てたのは、秀逸なこだわりです（笑）。

チョコッと留めた青い鳥には「“大きな家族”が幸せでありますように」という願いを込めました。

ちょっと可愛いでしょ？（笑）。

禅語に「松風颯々の聲（しょうふうさつさつのこえ）」という言葉があります。

松の固くて細かい葉の間をスーッと抜ける風は、ほとんど音を立てることはありませんが、そんなわずかな音にも気が付くような、静かな心で耳を澄まし、細やかに心を配りなさい。まさに介護の心構えそのもののような教えですが、このロゴマークの松の下で耳を澄ましたら、青い鳥の鳴く声も聞こえそうですね。

「変わらない」ために「変える」。揺らぐな、伸びろ、五葉会。